

2022年7月11日

次世代健康医療記録システム  
共通プラットフォームコンソーシアム  
特別正会員、通常正会員、賛助会員 各位

次世代健康医療記録システム  
共通プラットフォームコンソーシアム  
会長 大江 和彦

## 本コンソーシアムの一般社団法人化について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は、コンソーシアムの活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本コンソーシアムは2019年9月6日に設立し、3年間の活動を行ってきました。この間、将来的な健康医療記録管理のあり方を示す基本指針と、相互運用性を確保する標準化に関する指針をまとめて公表してまいりました。現在、これらの指針をもとにした共通プラットフォームのプロトタイプシステムをクラウド上に構築しつつあり、今後これをベースに国内での実証実験を拡大していきたいと考えております。政府は「経済財政運営と改革の基本方針 2022(骨太方針)」において、医療情報基盤の整備を進め、医療DXを加速化することを打ち出しています。今後、様々な公的支援事業が動き出すことも予想され、医療情報の標準化や共通プラットフォーム構築等において、本コンソーシアムも一定の役割を果たしたいと考えています。

そこで、今年の9月末を目処に法人化することにより、さらに活動基盤を強化することを検討しています。具体的には、本コンソーシアムを一般社団法人化し、任意団体の活動から一般社団法人の活動に移行することを会長から提案し、運営幹事会で承認されました。現在の活動方針、会員や財産等はそのまま新法人に引き継ぐ計画です。これについては、9月21日開催の第3期総会でご承認いただく計画ですので、あらかじめお知らせいたします。なお、一般社団法人成立後に全ての会員を移行し、任意団体としてのコンソーシアムは解散する予定です。

本件に関して、ご質問ご意見がある会員の皆様は事務局までご連絡ください。

以上